

公 表 日

令和 4年 6月15日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度 土砂災害に関する被害等実態調査分析及び調査手法検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 藤巻 浩之 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契約年月日	令和 4年 6月15日
契約業者名	(一財) 砂防・地すべり技術センター
契約業者の住所	東京都千代田区平河町2-7-5
契約金額	39,996,000円(税込み)
予定価格	39,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	
業務場所	福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 6月16日
履行期間(至)	令和 4年12月28日
備考	

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 令和4年度 土砂災害に関する被害等実態調査分析及び調査手法検討業務
2. 履行場所 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、土砂移動現象や被害等の実態について、データ収集及び分析結果を直轄砂防事業等のための技術基準類への反映を目的に、災害対応業務等の資料収集・分析、発災後の現地調査等を実施し、また、直轄砂防事務所が災害協定に基づく業務等により、自らデータ収集を行う際、調査者毎に収集するデータの品質や精度を向上させることを目的に、土砂災害調査マニュアル（仮称）（案）の素案を作成する業務である。

2) 業務の内容

- ・計画準備・・1式
- ・過去の土砂災害の被災・土砂移動現象等実態に係る資料収集、調査及び分析・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・当該年度に発生した土砂災害の被害等実態に係る現地調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・土砂災害調査マニュアル（仮称）（案）の素案作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式
- ・報告書作成・・1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を33者が入手（ダウンロード）し、4者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、特定テーマである「技術基準類への反映を目的とした発災後の調査及び土砂災害調査マニュアル（案）作成に付する提案」において「与条件の設定」や、「着眼点・問題点・解決方法等」が的確で理論的に整理されていた。さらに、提案内容においても説得力があり優れていたため、業務遂行に十分な技術力を有していると判断される。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川計画課長